

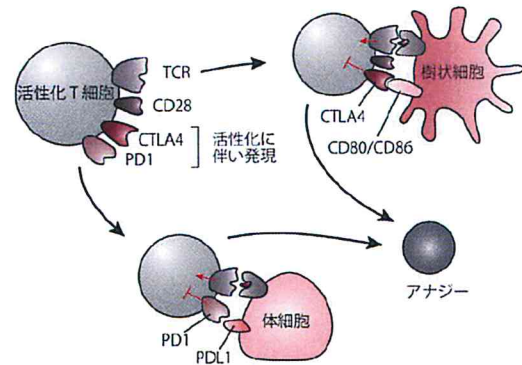


腫瘍内科よりご案内

盲腸などは手術をすれば治るのに、がんは手術をして病巣をとっても再発してくることがあるのはなぜだろうと思われたことはありませんか。細菌やウイルスには体内の免疫機能が働くのに対して、がん細胞には免疫機能が十分働かないのはなぜか、今までよく分かっていませんでした。しかし最近の免疫学の進歩で、その仕組みが次第に分かってきました。

ヒトの体細胞は自分自身であることを証明するマーカーとなるタンパク質を細胞表面に持っています。免疫細胞のうちTリンパ球は、このマーカーを認識する部位 (TCR) を持っています。相手の細胞の表面マーカーがこのTCRと一致しなければ、Tリンパ球はその細胞を攻撃する仕組みを起動させ、細菌やウイルス等自身でない細胞を攻撃し排除します。一方攻撃を引き起こすTCRの他に、PD-1(programmed death-1)という攻撃をやめさせるように働く部位も、Tリンパ球が持っていることが明らかになったのです。そのPD-1のスイッチが入ると免疫が働かなくなる(アナジー)のです。がん細胞はこのようなスイッチを入れる物質(PD-L1:PD-1のligand)を持っており、免疫で排除されずに生き残ることができるのです。そこでそのPD-1やPD-L1をブロックし、がん細胞をやっ

つけるように開発されたのが免疫チェックポイント薬という薬剤です。難治がんとして知られる悪性黒色腫の患者さんに奏効し、昨年保険適応になったのはご存知の方もいらっしゃると思います。さらにわが国で最も多い肺がんにおいても、従来の治療に比べてよく効くことが証明され、今年から保険が適応されるようになりました。



「河本宏著 もっとよくわかる!免疫学 実験医学別冊」より

当院腫瘍内科では、胃がんに対してもこの薬剤が保険適応となるよう臨床試験に参加しています。まだ治療を初めていないこれから化学療法を行うという患者さんを対象とする臨床試験を近日中に開始予定です。もしそのような患者様がいらっしゃいましたら、この機会に当院腫瘍内科までお問い合わせください。



腫瘍内科 部長 副がんセンター長
佃 博

病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。

地域医療連携室よりお知らせ

外来診療につきまして、下記の通り変更となりますので、ご了承の程、何卒宜しく願い申し上げます。

泌尿器科

8月5日(金) 大年 太陽 医師 **休診** ⇒ 香山 侑弘 医師 **代診**

8月19日(金) **休診**

眼科

8月1日(月) **休診** ⇒8月4日(木)に**振替診察**

8月9日(火) 芳田 裕作 医師 **休診** ⇒ 塩地 麻裕華 医師 **代診**

小児科

8月16日(火) 石田 博 医師 **休診**



新任医師の紹介

整形外科



みぞ かわ しげ かず
溝 川 滋 一

平成28年4月より、整形外科に着任しました溝川滋一と申します。前職の大阪市立大学では変形性股関節症・特発性大腿骨頭壊死症などの股関節外科を中心に診療を行ってきました。股関節・膝関節の人工関節の分野を専門としています。

これまでの経験を生かし、保存療法を十分に行っても改善されない障害に対して手術加療を行い、患者さんのQOL改善に貢献できるよう努力いたします。



整形外科



たか はし よし ふみ
高 橋 佳 史

はじめまして。4月より和泉市立病院で勤務させていただきます高橋と申します。平成19年に大阪市立大学医学部を卒業後、大阪市立大学医学部附属病院など4つの施設で研鑽を積んでまいりました。外傷外科やスポーツ整形外科など様々な分野を学んできましたが、現在は脊椎外科を専門にしており、診察では患者様にわかりやすい説明を、手術では顕微鏡を用いて低侵襲かつ丁寧な手術を心がけて診療を行ってまいりました。今後もいままでの経験を活かして脊椎外科を中心に診療を行っていきたいと思っておりますが、救急外傷にも力を入れていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ちょっと一言欄(何かお気づきの点があれば、FAXにて送信ください)◆